

西日本ナノシート研究会サマーキャンプ 2014
West-Japan Nanosheet Society: Summer Camp 2014 (WJNS-SC2014)

<主催> 西日本ナノシート研究会

<協賛> 日本化学会低次元系光機能材料研究会

日本粘土学会「粘土鉱物を利用したナノ構造機能材料」研究グループ

<主旨> 層状結晶の剥離などによって得られる無機ナノシートは、1 nm の厚さを持った異方的な形状の新しいナノ素材であり、機能性薄膜材料や無機有機ナノ複合材料などの様々な機能材料創成に向けた応用が検討されています。最近では、これらの固体材料ばかりでなくナノシートコロイド分散系などが「ナノシート液晶」などの機能性ソフトマテリアルや複雑系物理の研究対象としても注目されつつあります。

本研究会では、無機ナノシートや層状結晶に加え、明確で制御可能なナノ構造をもつメソ多孔体やカーボンナノチューブなどの無機物質、また高分子や液晶など関連の深いソフトマテリアル等を対象にし、学生や研究者が気軽に自由に議論する場を提供することを主旨としています。また物理系の研究者にも加わって頂き、ナノシートのコロイド分散系の挙動を理解していくための理論やシミュレーション研究、小角散乱による構造解析手法にもスポットを当てていきます。このように、ナノシートの化学・物理に関する学術研究やその機能・応用についての研究・開発を包括的に推進しています。

本サマーキャンプは、ナノシートと関連する、あるいは将来関連しそうな「幅広い分野」の「若手研究者や学生」にご自身の研究内容を発表していただき、交流を深め、「今後の共同研究や、新しい融合分野の開拓につなげていく」という主旨で開催します。ナノシートの科学の発展を期するのは勿論ですが、本研究会での交流をきっかけとして新しい研究の芽をはぐくみたいと思っております。多孔質材料・高分子・ソフトマテリアル・コロイド・液晶などの、合成・物理化学・応用などにとどまらず、生命工学・環境工学・エネルギー工学さらには情報科学や機械工学など、できるだけ幅広い分野にまたがるエネルギッシュな研究者達が本音をぶつけて本気で議論し、予期できないような新しい結果が生まれればと思っております。会場は、九州の、のんびりとした美しい島です。リラックスし、釣りやバーベキューや海を楽しみながら、まずはお互いをよく知って、今後の交流のきっかけづくりができればと思っております。



画像は <http://www.ikikankou.com> より転載。

Second Circular: WJNS-SC 2014

＜発表＞基本的に、すべての参加者にポスター発表をして頂きます。希望者には口頭発表をして頂きます。使用言語は日本語または英語。口頭発表では、発表時間40分、質疑時間10分とします。

＜参加登録費＞一般4000円、学生2000円

＜懇親会費＞一般4000円、学生無料

＜宿泊費および移動費（JTB扱い）＞：ジェットfoil使用の場合25200円、フェリー使用の場合21200円

＜参加登録〆切＞2014年6月20日

＜参加登録方法＞（1）氏名と所属（学生は研究室名も）、（2）発表題目、（3）当日連絡可能な電話番号（携帯等）、（4）E-mailアドレス、（5）その他（部分参加の場合の宿泊の予定など）を明記の上、下記E-mailアドレス宛にお申し込み下さい。

＜申込先/問合せ先＞福岡工業大学工学部生命環境科学科・宮元展義 電話(092)606-3977 E-mail: miyamoto@fit.ac.jp
811-0295 福岡県福岡市東区和白東3-30-1 緊急連絡先:080-5150-9952

＜スケジュール＞

■7/19（土）

- 15:00～ 現地集合・レジストレーション
- 18:00～19:00 夕食
- 19:00～21:00 セッション1（口頭発表：木村、伊田）

■7/20（日）

- 9:00-12:00 セッション2（口頭発表：宮元、角五、藤ヶ谷）
- 12:00-15:00 昼食・休憩
- 15:00-17:00 ポスターセッション
- 17:00-19:00 夕食
- 20:00-22:00 懇親会/ポスターセッション

■7/21（月・祝）

- 9:00-12:00 セッション3（口頭発表：井出、大背戸、山本）

※船の遅延・欠航を想定して、余裕を持ったスケジュールとしております。

※万が一、荒天等でフェリーや航空便が欠航し7/19に移動できない場合、福岡市内に宿を手配し、7/20の朝に島まで移動することとします。その場合、セッションのスケジュールを変更する可能性があります。

※7/20も移動できない場合は、壱岐の宿泊はキャンセルし、福岡工業大学にて各セッションを行います。

＜場所＞「民宿 滝の上」<http://gt.kouryu.or.jp/detail/42210/4870.html>

〒811-5136 長崎県壱岐市郷ノ浦町片原触2559

全ての口頭発表およびポスターセッションは、宿泊施設内の会議室で行います。



<参加予定者>

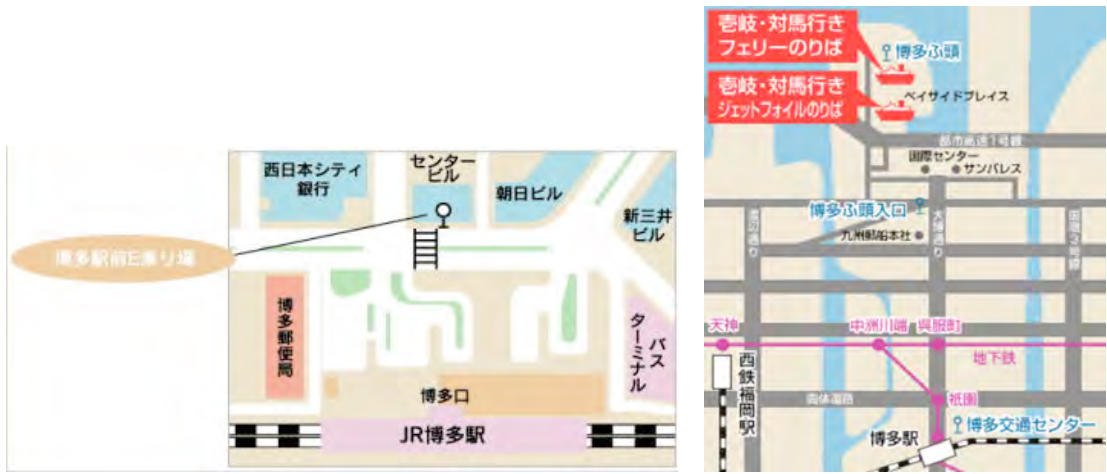
伊田進太郎 (九州大学)	木村 辰雄 (産業技術総合研究所)	佐藤 倫子 (福岡工業大学)
井出 裕介 (物質・材料研究機構)	藤ヶ谷 剛彦 (九州大学)	稲富巧 (福岡工業大学)
井出 京子 (花王株式会社)	宮元 展義 (福岡工業大学)	大森康平 (福岡工業大学)
大背戸 豊 (九州大学)	山本 伸也 (福岡工業大学)	吉村昌平 (福岡工業大学)
角五 彰 (北海道大学)	山口 直哉 (福岡工業大学)	松岡 雅仁 (福岡工業大学)

<発表リスト (口頭発表 and/or ポスター発表) >

- ・ 伊田進太郎、石原達己「ナノシート pn 接合の作製とその光機能」
- ・ 井出 裕介「ゼオライト転換法の層状物質への応用」
- ・ 大背戸豊、谷口真規子、大野正司、猿橋康一郎、渡邊久幸「混合による分子性ゲルの機能向上と徐放材料への応用」
- ・ 角五 彰「生体分子モーターの集団運動における内的・外的要因の役割」
- ・ 木村 辰雄「酸化物骨格の縮合反応が導くナノ構造制御」
- ・ 藤ヶ谷 剛彦 「高分子被覆グラフェンナノシートへの金属ナノ粒子担持」
- ・ 宮元 展義「異方的な構造と物性をもつナノシート液晶/PNIPA 複合ゲル」
- ・ 山本伸也、宮元展義、海老名保男、佐々木高義「厚さの異なる一連の層状ペロブスカイトナノシート液晶の構造色」
- ・ 佐藤 倫子、中戸晃之、宮元 展義「層状六ニオブ酸塩ナノシート液晶と PNIPA を複合化した異方性ゲルの光応答」
- ・ 大森康平、堀川 誠太、宮元 展義「層状複水酸化ナノシートコロイドの液晶性」
- ・ 吉村昌平、稲富 巧、池田 正吾、宮元展義「せん断流によるナノシート液晶の配向制御」
- ・ 松岡雅仁、吉村昌平、宮元展義「ナノシート液晶ゲル微粒子合成のためのマイクロ流路デバイスの作成」
- ・ 山口直哉、宮元展義「DNA/ナノシート混合コロイド系の特異な液晶相形成」
- ・ 稲富 巧、池田 正吾、奥村泰志、菊池裕嗣、宮元展義「電場配向したナノシート液晶/PNIPA 複合ゲルの異方的な光応答」

<交通>

- (0) 福岡空港→博多駅 (地下鉄で5分)
- (1) 博多駅→博多港 (バスで20分) : 博多駅博多口のセンタービル前 E バス停より88番バスに乗車。終点「博多港国際ターミナル中央ふ頭」で下車



- (2) 博多港→壱岐島 : 博多港から壱岐島までは、ジェットフォイル (高速船) またはフェリーで、移動します。壱岐の港と宿の間の移動は、宿の送迎バスまたはタクシーとなります。

※下記の日付以外は出発時間等が変わる場合があります。部分参加の方は<http://iki.halimao.com/ferry/>でご確認下さい。
 ※「郷ノ浦」の港は「芦辺」よりも、宿から比較的近い場所にあります。

<行き (7/19)>

ジェットフォイル (博多港→壱岐)

08:00 → 09:10 (郷ノ浦)
 10:10 → 11:20 (郷ノ浦)
 10:45 → 11:50 (芦辺)
 15:15 → 16:25 (郷ノ浦)
 16:55 → 18:00 (芦辺)

フェリー (博多港→壱岐)

00:10 → 02:20 (芦辺)
 09:30 → 11:50 (郷ノ浦)
 10:20 → 12:40 (郷ノ浦)
 14:45 → 16:55 (芦辺)
 19:50 → 22:10 (郷ノ浦)

<帰り (7/21)>

ジェットフォイル (壱岐→博多港)

(芦辺) 07:55 → 09:00
 (郷ノ浦) 09:20 → 10:30
 (郷ノ浦) 13:45 → 14:55
 (芦辺) 14:25 → 15:30
 (郷ノ浦) 17:00 → 18:10

フェリー (壱岐→博多港)

(郷ノ浦) 07:00 → 09:25
 (芦辺) 11:15 → 13:25
 (芦辺) 16:15 → 18:25
 (郷ノ浦) 17:45 → 20:10